

宮崎の宮

# 宮崎神宮



◎ご祭神 神日本磐余彦天皇(神武天皇)

ご創建は神武天皇の孫にあたる建磐龍命が九州の鎮守となった際、神武天皇のご遺徳を称える為に鎮祭したのが始まりと伝えられています。現在の社殿は、明治四十年に建て替えられたもので日向の名材狭野杉を用い白木で銅板葺きの神明造りです。毎年十月に斎行されるご神幸祭(神武さま)は、ご東遷のご聖業をお偲びし斎行されます。ご鳳輦(ほうけん)を中心とした荘厳な祭りで古代衣装に身を包んだ隊列が延々と続きます。九州三大祭りの一つといわれ、秋の宮崎を彩る県下最大の祭です。

〒880-0053 宮崎県宮崎市神宮2丁目4番1号  
電話(0985)27-4004 FAX(0985)27-4030  
<http://miyazakijingu.jp>

ご降誕の地

# 狭野神社



◎ご祭神 神日本磐余彦天皇(神武天皇)

社伝によれば、人皇第五代・孝昭天皇の御代に神武天皇ご降誕の地にご創建されたのが創祀といわれます。当社より西方一キロの霊跡に末社皇子原神社が鎮座し産婆石と呼称される神石が奉斎されています。また霊峰高千穂峰麓周辺には、皇子川原、血捨ノ木等のご生誕にまつわる地名が残っています。現在の社殿は明治四十年に宮崎神宮の旧社殿を移築したもので大正六年に宮崎神宮の別宮に指定されました。境内の狭野杉は、豊臣秀吉の朝鮮の役で、薩摩藩主島津義弘公が凱旋の後、祈願奉養として植栽したもので、大正十三年に国の天然記念物に指定されています。

〒889-4414 宮崎県西諸県郡高原町大字蒲牟田117  
電話・FAX(0984)42-1007

ご東遷戦勝祈願の地

# 都農神社



◎ご祭神 大己貴命(大国主命)

創祀されたのは神武天皇がご即位六年前に宮崎の宮を出立したご東遷の折り、この地に立ち寄り国土の平安、海上平穏、武運長久を祈念し祭神を祀ったと伝えられています。

旧記によれば、日向国の第一の大社でしたが、天正年間の大友島津の争乱の際、ご神体は避難されたものの、社殿・宝物古文書などすべて焼失し、小さな祠があるのみの状態となりました。その後藩主秋月種政が元禄五年に復興し安政六年に再建され明治四年五月に県内最初の國幣社に列せられました。

〒889-1201 宮崎県児湯郡都農町川北13294番地  
電話(0983)25-3256 FAX(0983)25-0617  
<http://www1.bbiq.jp/tunojinja/>

## 神武さまご東遷ゆかりの神社

宮居の跡地

### 狭野神社

都城市都島町774  
TEL.(0986)24-9801

橘の小戸の阿波岐原お望みの地

### 金崎神社

宮崎市大字金崎2995  
TEL.(0985)41-0501(倉岡神社)

宮崎神宮の元宮

### 皇宮神社

宮崎市下北方町横小路  
TEL.(0985)27-4004(宮崎神宮)

湯浴みの地

### 湯之宮神社

児湯郡新富町大字新田18633-2  
TEL.(0983)35-1601(春日神社)

国土平定祈願の地

### 鵜戸神社

児湯郡高鍋町大字蚊口浦1-1  
TEL.(0983)22-2700(立花神社)

武運長久祈願の地

### 甘漬神社

児湯郡川南町大字川南11393  
TEL.(0983)27-3244(平田神社)

お船出前修祓齋行の地

### 湊柱神社

日向市大字幸脇5  
TEL.(0982)57-2323(愛宕神社)

お船出の地

### 立磐神社

日向市美々津町3419  
TEL.(0982)58-1638

武運長久祈願の地

### 大御神社

日向市大字日知屋1  
TEL.(0982)52-3406  
<http://www.oomijinja.jp>

銚を納置された地

### 御銚神社

日向市大字細島353  
TEL.(0982)53-1951(銚島神社)

## 神武さまご降誕伝承の地

西臼杵郡高千穂町

### 四皇子ヶ峯

宮崎市佐土原町

### 佐野原

西諸県郡高原町

### 皇子原

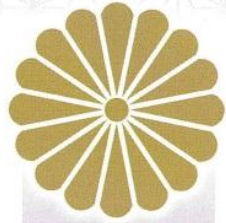
※各地の由緒等は宮崎神宮ホームページ内に掲載しています。

神武会のご朱印帳を頒布しております。

— 頒布神社 —

◆ 宮崎神宮 ◆ 狭野神社 ◆ 都農神社

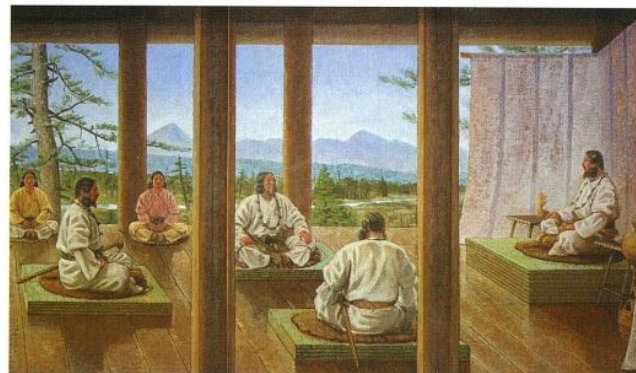
## 皇祖発祥の地「宮崎」



# 神武さん参り

「神武天皇ゆかりの神社巡拝のご案内」

かむやまといはれひこのすめらみこと  
**神日本磐余彦天皇(神武天皇)**  
神武天皇さまは、鵜草葺不合尊うがやふきあはずのみことと玉依姫命たまよりひめのみことの第四皇子としてお生まれになり、ご幼名は狭野命さののみことと申しあげました。天皇は十五歳の時に皇太子になられ、宮崎に都を定められました。しかし、この国の人々を豊かに暮らせるようにするには、四方を青い山にかこまれた大和(奈良県)に都をおくのがよいと思われ、四十五歳の時に宮崎をおたちになり、大和へ向けてすすまれました。そして、宮崎をおたちになって七年目の正月朔日ついで(現在の二月十一日・建国記念の日)に畝傍うねびの檀原かしはらの地に宮殿を建て第一代の天皇にご即位されました。  
檀原のとはつみおやの宮柱 たてそめしより国はうごかず(明治天皇御製)



「宮崎の宮」画・平澤定人(宮崎神宮所蔵)

## 神武会事務局

〒880-0053 宮崎県宮崎市神宮2丁目4番1号(宮崎神宮内)

電話 (0985)27-4004 FAX (0985)27-4030

<http://miyazakijingu.jp/>